



引き続き

感染症対策へのご協力をお願いします

西諫早図書館では、新型コロナウイルスを含む、感染症対策をおこなっています。来館の際は、人との間に十分な距離を取り、「密」をできるだけ避けましょう。

館内では、マスクの着用・手指の消毒を徹底していただきますようお願いいたします。※密集・密接を避けるため座席数を減らしています。



図書館カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

20冊・3週間
借りられます



今月の展示

小説

幻冬舎×新潮社

実用書

梅・バラ/夏の手作り
家時間を充実させる!



館員おすすめの一冊

『なぜ僕らは働くのか』

池上 彰/監修 (Gakken)

今回紹介する本は、池上彰氏監修による、これから社会へ羽ばたく中学生・高校生の若者たちに将来の働き方について考えてもらいたいと願って作られました。世の中には、たくさんのいろいろな仕事があること、生きるために必要なお金のこと、AIについて、多様性が大切な時代に変化していくことなど多方面から考えるべきテーマを図解やマンガを使って、わかりやすく伝えています。

各章のはじめに、進学校で挫折をし、将来に不安を抱える主人公のハヤトを主人公に、働くことの意味や将来について考え精神的に成長していく姿が描かれていて、とても読みやすい工夫がされています。10代の若者たち、そして私たち大人も仕事や生き方に悩んだ時、勇気づけられる一冊です。ぜひ親子で読んでみてくださいね。(I)



新刊紹介

この他にもたくさんあります!
貸出中の本には予約ができます

『北欧ファブリック図鑑』

ネコ・パブリッシング

『最新医療費の仕組みと基本がよ〜くわかる本』

伊藤 哲雄/編著 秀和システム

『子どものうつがわかる本』

下山 晴彦/監修 主婦の友社

『籐で作るアクセサリーと小物』

堀川 波 誠文堂新光社

『言葉を使う動物たち』

エヴァ・メイヤー 柏書房

『不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ』

太田 さちか マイムラ

『はじめての薬膳ごはん』

武 鈴子 家の光協会

『起業をするならこの1冊』

馬渡 晃 自由国民社

『山地図本 春編』

西日本新聞社

『魔女たちは眠りを守る』

村山 早紀 KADOKAWA

『法の雨』

下村 敦史 徳間書店

『逃亡者』

中村 文則 幻冬舎



西館日和

6月を迎え、今年も折り返し地点にきました。自然界では至って通常の時が流れていて、間もなく梅雨の季節が巡ってきます。

去年の今頃は、まさか毎日マスクをして、外出先で人との距離に気を使う生活を強いられるとは思っていませんでした。以前の生活に戻りたいとついつい考えてしまい、好きな時間に好きな場所で好きな人と自由に過ごすことがいかに素晴らしかったか痛感しています。

この新型コロナウイルスの感染拡大にともなって、差別や偏見など人間の弱く嫌な部分もたくさん見せられました。でも同じ分だけ心温まる活動や支援が拡がりました。人の優しさは、きっと受け取った人の心に種を蒔いていると思います。

みなさんの毎日も「新しい生活様式」を取り入れ、慣れないこともたくさんあることと思います。薬やワクチンがないため、簡単に元の暮らしには戻れませんが、命を守るため図書館においても気を緩めずに感染防止に努めます。どうぞ皆様のご理解、ご協力をお願いします。

館長 池田